

〈施工時の注意事項〉

施工は、施工要領書記載の内容に基づいて行って下さい。
施工現場、資材保管場所は火気厳禁とし、粉末、炭酸ガス又は泡消火器等を準備して下さい。
換気、排気に注意し十分な対策を施して下さい。
保護帽、保護メガネ、保護手袋、有機溶剤用マスクなど着用して下さい。

〈取扱いの注意事項〉

有機溶剤を含有する材料は、労働安全衛生法に準拠した取り扱いを遵守して下さい。
有機溶剤ガスを吸わない様に十分対策を施して下さい。
硬化剤は鉄・銅合金・鉛・ゴムなど異物と接触しないよう注意して下さい。
材料は中身を使い切った上で廃棄して下さい。
廃液・廃材などは産業廃棄物として処分して下さい。

詳細は安全データシート（SDS）をご参照下さい。

〈材料〉

製品名	主成分	荷姿	溶剤分類	消防法
ジックアクアプライマー	ビニルエステル樹脂	15 kg 缶	特別有機溶剤	第4類第2石油類
ジックアクアパテ	ビニルエステル樹脂	15 kg 缶	特別有機溶剤	第4類第2石油類
ジックアクア P810	防水用軟質 ^ホ ポリエステル樹脂	20 kg 缶	特別有機溶剤	第4類第2石油類
ジックアクア P820	防食防水用耐食 ^ホ ポリエステル樹脂	18 kg 缶	特別有機溶剤	第4類第2石油類
ジックアクア P830T	防食防水用耐食 ^ホ ポリエステル樹脂	16 kg 缶	特別有機溶剤	第4類第2石油類
硬化剤 BPO (例：ナイバ [®] -NS/ [®] カト [®] ックス L-40ES)	有機過酸化物	5 kg/10 kg	—	—
硬化剤 MEKPO (例：メボックス 55R)	有機過酸化物	5 kg	—	第5類第2種 自己反応性物質
ガラスマット EM450	ガラス繊維	30 kg/巻	—	—
ガラスファイバマット #30	ガラス繊維	100 m/箱	—	—

水道施設用 FRP ライニング工法

ジックアクア149工法



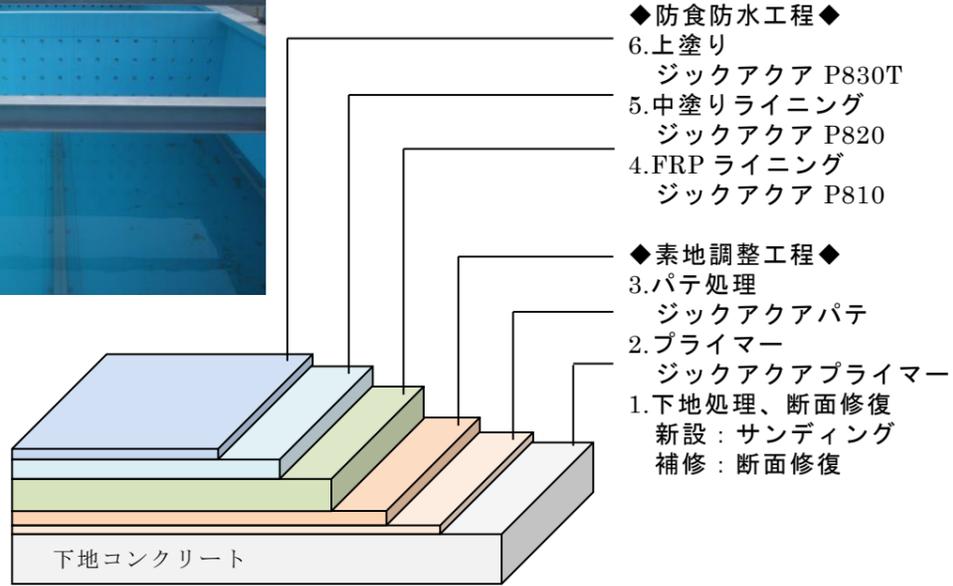
日本ジッコウ株式会社

■ 本社	／ 神戸市西区南別府1丁目14番6号	〒651-2116	☎(078)974-1141
■ 東京支店	／ 東京都台東区東上野3丁目3番13号	〒110-0015	☎(03)6803-2287
■ 東北営業所	／ 宮城県仙台市宮城野区高砂1丁目30番24号	〒980-0801	☎(022)796-5312
■ 横浜営業所	／ 横浜市中区本町1丁目4番地	〒231-0005	☎(045)307-4817
■ 北陸出張所	／ 石川県野々市市本町5丁目11番17号	〒921-8815	☎(076)227-9890
■ 中部営業所	／ 名古屋市西区則武新町4丁目3番12号	〒451-0051	☎(052)433-1350
■ 大阪営業所	／ 大阪市福島区吉野1丁目20番30号	〒553-0006	☎(06)6486-9797
■ 中国営業所	／ 広島市安佐南区中筋3丁目27番26号	〒731-0122	☎(082)831-7505
■ 四国営業所	／ 愛媛県松山市朝生田町2丁目10番17号	〒791-1105	☎(089)905-3833
■ 九州営業所	／ 福岡市南区清水4丁目7番29号	〒815-0031	☎(092)512-2248
■ 南九州事業所	／ 鹿児島県鹿児島市武1丁目2番10号	〒890-0045	☎(092)512-2248
■ 技術研究所	／ 兵庫県明石市硯町3丁目4番7号	〒673-0028	☎(078)920-1115

日本ジッコウ株式会社

ジックアクア149工法

ジックアクア 149 工法は、日本水道協会規格 JWWA K 149 規格に適合する軟質ポリエステル樹脂と耐食ポリエステル樹脂を複合した水道用コンクリート水槽用 FRP ライニング工法です。



ジックアクア 149 工法 積層断面

〈特長〉

1. 軟質ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化した FRP ライニング工法で、柔軟性と高強度を兼ね備え、防水性と防食性を発揮します。
2. 高い強度と柔軟性によりクラック追従性を高めています。
3. 下地コンクリートに対し、耐アルカリ性を高めています。
4. 長期間、接着力を維持する接着安定性を発揮します。
5. 揺変性が高く、良好な作業性を示し、ガラス繊維への含浸性や脱泡性が良好です。
6. 硬化塗膜は、日本水道協会規格 JWWA K 149 に規定された塗膜の品質に適合します。

〈対象施設〉

- ・水道用コンクリート水槽内面：配水池、受水槽、浄水池など浄水施設、
- ・その他のコンクリート水槽内面：ファームポンド、防火水槽など

〈仕様〉

工程	使用材料名	塗り重ね間隔 前工程終了後 (20℃)	使用量 (kg/m ²)	硬化塗膜厚 (mm)
素地調整	プライマー	ジックアクア プライマー	0.12	—
	パテ	ジックアクアパテ	0.5	—
防食防水	FRP ライニング	ジックアクア P810	1.2	1.2 以上
		ガラスマット EM450	1~1.1m ² /m ²	
	中塗りライニング	ジックアクア P820 ガラスファイバマット#30P	0.7 1~1.1m ² /m ²	
上塗り	ジックアクア P830T	0.3		

※プライマーは硬化剤 BPO（例：ナイパーNS 又はパーカドックス L-40ES）を 2.5% 配合。
 ※パテ、P810、P820、P830T は硬化剤 MEKPO（例：メボックス 55R）を 1.0% 配合。
 硬化剤の配合は、気温等により異なるので、配合の詳細は施工要領書参照。
 ※中塗りライニング施工前に FRP ライニングに凹凸がある場合はサンディングを行う。
 ※塗り重ね間隔を過ぎた場合は表面目荒しを行った後に塗り重ねを行う。

〈塗膜性能〉

項目	品質規定	試験結果	
付着強さ	標準状態	1.5N/mm ² 以上	合格
	吸水状態	1.2N/mm ² 以上	合格
耐衝撃性	割れ・はがれがないこと	合格	
耐アルカリ性	膨れ・割れ・はがれがないこと	合格	
透水性	透水量 0.2g 以下	合格	
塩素イオン透過度	1.0×10 ⁻³ mg/cm ² ・日以下	合格	
低温・高温繰返し	割れ・はがれがないこと	合格	
溶出性	基準値以下	合格	
浸出性	基準値以下	合格	